



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2020
令和2年

2-20
No.570

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



長野灯明まつり 長野冬季五輪の開催地から、「平和」を願う精神を発信しようと始まった「長野灯明まつり」も今回で17回目。
ゆめ灯り絵 冬の風物詩にお天気も合わせたのか、この日ばかりは、暖冬続きの今冬が嘘のような寒空。
(中央通り) 日本情緒溢れる灯笼を、スマホ撮影する外国人旅行者のベビーカーも防寒仕様でした。

- 長野しんきん月例調査レポート…………… 2
- 企業アンケート 2020年の経営見通し ② …… 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン…………… 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (66) 天然ダムの決壊…………… 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



長野信用金庫

概況 全産業

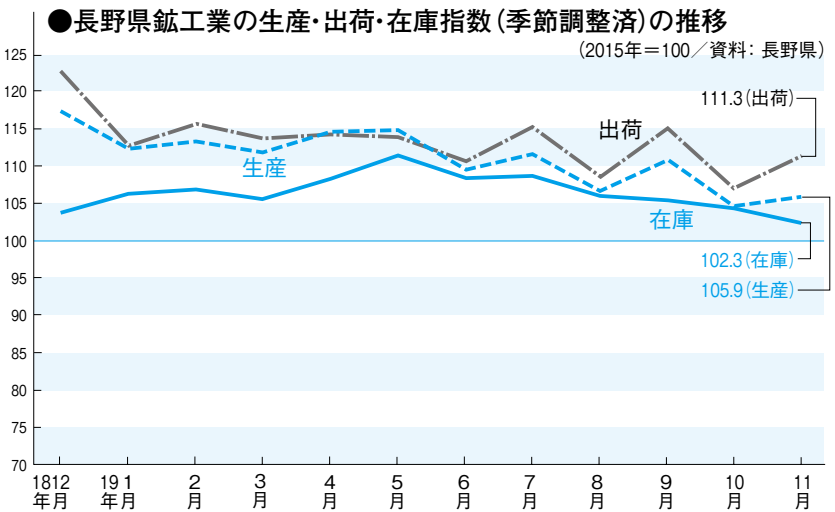
生産は2カ月ぶりの上昇 前年同月比は4カ月連続の低下

◇令和元年11月の長野県鉱工業指数 (速報：季節調整済指数)

生産は105.9(前月比+1.0%)で
2カ月ぶりの上昇、出荷は111.3
(同+4.0%)で2カ月ぶりの上
昇、在庫は102.3(同▲2.0%)で4
カ月連続の低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は108.1(前年同月比▲
10.4%)で4カ月連続の低下、出
荷は107.8(同▲6.1%)で2カ月連
続の低下、在庫は109.2(同▲3.3
%)で9カ月ぶりの低下となりまし
た。



- [生産] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、食料品、電子部品・デバイスなど13業種
低下…化学、窯業・土石製品、金属製品など4業種
- [出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、食料品、情報通信機械など10業種
低下…金属製品、鉄鋼、プラスチック製品など7業種
- [在庫] 上昇…プラスチック製品、はん用・生産用・業務用機械、非鉄金属など8業種
低下…電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイスなど8業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 2019年11月

◇1月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前年比
「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(29

%)が2割増加、「減少」割合(35%)が3割減少、「不
変」割合(36%)が1割増加、全体としては増加の
状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比
(3ポイント以上の動き)

↗ 増加 ↘ 減少
→ 不変
↖ 改善 ↗ 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	今回			回収率	回収率		
	増加	不変	減少		増加	不変	減少		30人未満	30人以上	30人以上
全産業	27.1 ↘	34.9 →	38.0 ↗	増加 ↗ 29.4	不変 → 36.1	減少 ↘ 34.5	改善 ↗	194社(回収率81.5%)	73.7%	26.3%	27.1%
製造業	32.8 ↗	37.3 ↗	29.9 ↘	増加 ↗	不変 →	減少 ↘	改善 ↗	68社(回収率81.0%)	67.6%	32.4%	32.4%
建設業	30.6 ↘	35.5 →	33.9 ↗	増加 ↗	不変 →	減少 ↘	改善 ↗	62社(回収率87.3%)	85.5%	14.5%	14.5%
卸小売業	20.9 ↗	39.6 ↘	39.5 ↗	増加 ↗	不変 →	減少 ↘	改善 ↗	43社(回収率79.6%)	79.1%	20.9%	20.9%
サービス業	50.0 ↗	12.5 ↗	37.5 ↘	増加 ↗	不変 →	減少 ↘	改善 ↗	9社(回収率100.0%)	77.8%	22.2%	22.2%
輸送業	33.3 ↗	33.4 ↗	33.3 ↘	増加 ↗	不変 →	減少 ↘	改善 ↗	9社(回収率90.0%)	77.8%	22.2%	22.2%
外食業	12.5 ↘	37.5 ↗	50.0 ↘	増加 ↗	不変 →	減少 ↘	改善 ↗	8社(回収率80.0%)	37.5%	62.5%	62.5%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」電気機械が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(33%)が11ポイント増加、「減少」割合(30%)が13ポイント減少、「不変」割合(37%)が3ポイント増加し、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	22.4	34.3	43.3
	今回	増加 32.8	不変 37.3	減少 29.9
食料品		43.8	37.4	18.8
金属加工		53.8	15.4	30.8
一般機械		12.5	37.5	50.0
電気機械		-0.0	60.0	40.0
自動車部品		33.3	33.4	33.3
精密機械		-0.0	57.1	42.9

〔業種別〕 増加…食料品・金属加工・一般機械・精密機械
横ばい…自動車部品
減少…電気機械

〔機械稼働〕(前回比)稼働率 上昇

上昇割合 (16%) → 29%

下降割合 (22%) → 13%

〔受注状況〕受注量(前回比) 上昇

増加割合 (18%) → 22%

減少割合 (19%) → 18%

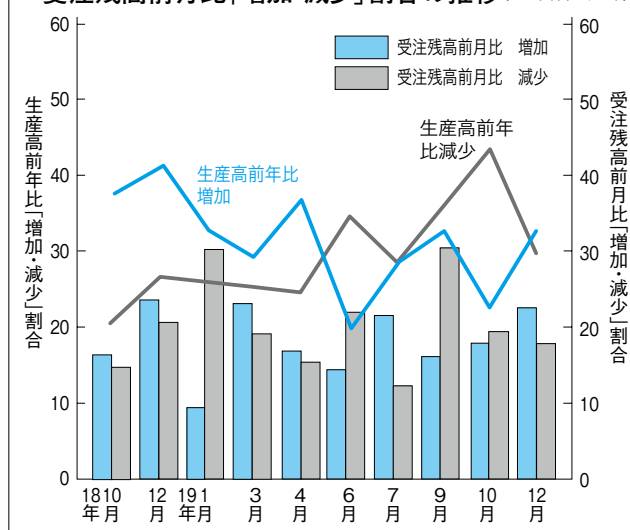
受注残高(1.6ヵ月) → 1.7ヵ月

〔受注基調〕(前回比) 上昇

上昇割合 (19%) → 24%

下降割合 (19%) → 16%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)

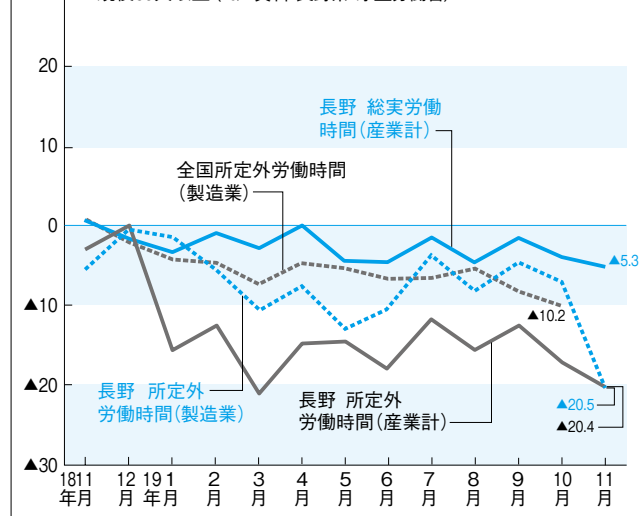


企業からのコメント

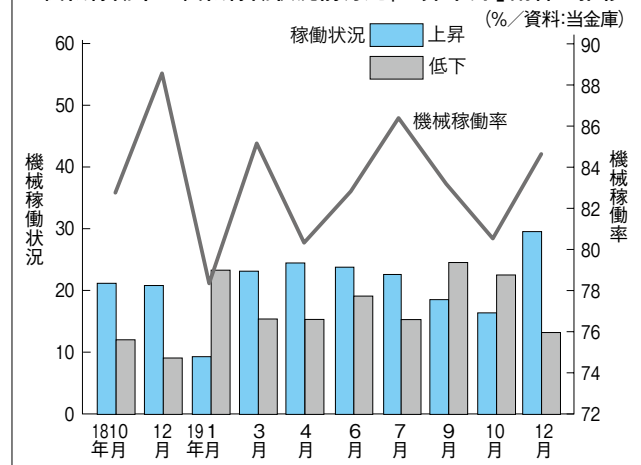
- ☆★家庭用・業務用ともに年末の受注は増加した。しかし、歳暮などギフト需要は減少傾向。(味噌)
- ★今年は食料品すべてに原産国表示が義務化されるが、これにより各社の業績が変わりそう。(漬物)
- ☆受注量は例年並だが残業時間が減っており、働き方改革で効率が上がったようだ。(シール・ラベル)
- ★国内・海外ともに受注減少が続いている。下げ止まり感はあるが、復調の兆しはない。(電子部品)
- ☆★医療機器は不変だが、産業用機器が下降気味である。(検眼器)
- ★米中貿易交渉や米・イラン紛争などの影響から、先行きは不透明。(エンジン回り部品)
- ★年替わりのタイミングで販売価格を上げているが、売上高への影響が懸念される。(農産物加工)

●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」建築・各種設備が増加するも、全体は減少

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(31%)が9ポイント減少、「減少」割合(34%)が12ポイント増加、「不変」割合(36%)が2ポイント減少し、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	40.0	38.3	21.7
	今回	増加 30.6	不変 35.5	減少 33.9
総合建設業		18.2	45.4	36.4
土木工事業		38.5	23.0	38.5
建築業		36.4	40.9	22.7
各種設備業		25.0	62.5	12.5

【業種別】 増加…建築・各種設備

減少…総合建設・土木工事

【受注状況】 受注残高(前回比) 改善

「多い・適正」割合 (73%) → 79%

「少ない」割合 (27%) → 21%

4～12月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～12月の発注合計は、1,634.4億円(前年同期比+18.3%)となりました。前年比プラスは「国」の278.8億円(同+16.3%)、「県」の512.8億円(同+45.4%)、「市町村」の586.7億円(同+18.3%)で、マイナスは「そのほか」の251.9億円(同▲13.7%)です。

北信地区市町村の発注合計は185.1億円(同+4.6%)で、うち長野市は98.2億円(同+62.7%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2019年12月/2019年4月～12月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証(株))

		2019年12月	前年同月比	2019年4月～12月	前年同期比
長野県	国	646	75.7%	27,884	16.3%
	県	2,207	▲18.2%	51,276	45.4%
	市町村	4,372	45.1%	58,667	18.3%
	そのほか	132	▲93.3%	25,192	▲13.7%
	合計	7,357	▲8.9%	163,439	18.3%
北信地区	市町村	1,671	106.8%	18,507	4.6%
	(内長野市)	844	36.5%	9,819	62.7%

4～12月の新設住宅着工戸数

長野県の4～12月の新設住宅着工戸数は10,131戸(前年同月比+2.1%)でした。持家が5,650戸(同+0.6%)、貸家が3,085戸(+5.4%)、分譲が1,387戸(同+5.6%)、給与が9戸(同▲87.1%)です。

北信地区の4～12月の新設住宅着工戸数は2,933戸(同+4.1%)でした。持家が1,587戸(同+4.8%)、貸家が839戸(同+11.0%)、分譲が506戸(同+3.1%)、給与が1戸(同▲98.2%)です。

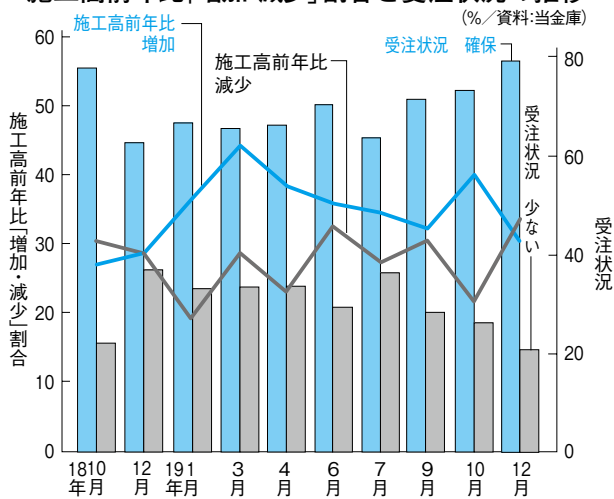
●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2019年12月/2019年4月～12月累計)

(資料: 長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	12月	133戸	118戸	44戸	0戸	295戸
	(内長野市)	90戸	114戸	31戸	0戸	235戸
	前年同月比	▲26.5%	332.1%	▲15.4%	▲100.0%	▲3.5%
	(内長野市)	▲18.9%	500.0%	19.2%	—	50.6%
	4～12月	1,587戸	839戸	506戸	1戸	2,933戸
	前年同期比	4.8%	11.0%	3.1%	▲98.2%	4.1%
長野県	12月	576戸	412戸	115戸	4戸	1,107戸
	前年同月比	16.2%	49.3%	▲8.7%	▲91.5%	▲2.6%
	4～12月	5,650戸	3,085戸	1,387戸	9戸	10,131戸
	前年同期比	0.6%	5.4%	5.6%	▲87.1%	2.1%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

- ★人件費や材料費の上昇が今後懸念される。
- ★災害の対応を優先したいが、人手もなく、対応しきれていないのが現状。
- ★☆台風の被害にその後各種補助金が拠出されており、業界として注視している。(以上総合建設)
- ★被災地の復旧はまだほど遠いが、入金の方法が立たず、一時撤退する。(土木工事)

卸小売業

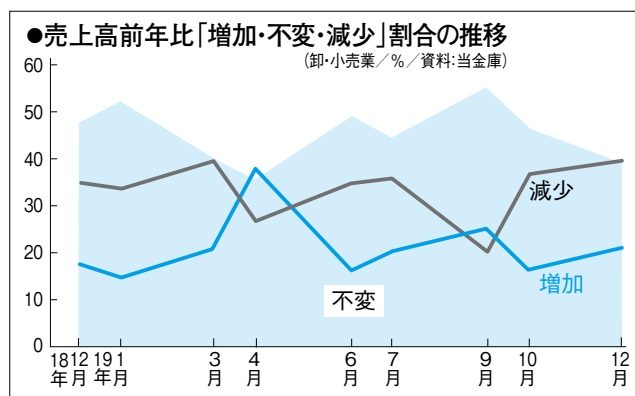
卸売業、小売業

「売上高」小売が増加するも、全体は横ばい

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(21%)が4ポイント増加、「減少」割合(40%)が3ポイント増加、「不変」割合(40%)が6ポイント減少し、全体として売上は横ばいの状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	17.1	46.3	36.6
	今回	増加 20.9	不変 39.6	減少 39.5
卸 売 業		27.8	38.9	33.3
小 売 業		16.0	40.0	44.0



【業 種 別】 増加…小売業 減少…卸売業

12月の消費者物価指数(長野市) 2015年基準=100

◇総合指数(確報値)……103.4 (39カ月連続のプラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+1.4%)

上昇…「交通・通信」「食料品」「諸雑費」

下落…「被服及び履物」「家具・家事用品」「保険医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…103.4 (36カ月連続のプラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+1.3%)

企業からのコメント

☆クレジットカード・電子マネーなどの利用が10月以降増加してきている。(食料品スーパー)

★引合いから注文まで時間がかかるようになり、業者が慎重になっているようだ。(健康食品卸)

☆★年末商材の動きが良くなってきたが、災害以来、消費は冷え込んでいる。(青果卸)

☆キャッシュレス決済での購入が目立ってきた。

(自動車・バイク・自転車整備)

★暖冬の影響で売上が伸びず、何といたっても天気次第の状況である。(軽包装材料卸小売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」輸送・サービスは増加、外食は横ばい

サービス業 売上高前年比「増加」割合は21ポイント増加の50%、「減少」割合は34ポイント減少の38%、「不変」割合は13ポイント増加の13%と、売上は増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は11ポイント増加の33%、「減少」割合は33ポイント減少の33%、「不変」割合は22ポイント増加の33%と、売上は増加の状況です。タクシー・運送ともに増加しています。

外食業 売上高前年比「増加」割合は13ポイント減少の13%、「減少」割合は13ポイント減少の50%、「不変」割合は25ポイント増加の38%と、売上は横ばい状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比97ポイントの増加ですが、前年同月比は8ポイントの減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は42ポイント減少の36%、「引合いやや増加」は4ポイント減少の18%でした。

企業からのコメント

★雪不足のためキャンセル多く、積雪後の戻りも予想外に少なく、売上は大幅に減少。(ホテル)

☆相続土地の処分依頼が県外在住の相続人から多数寄せられ、売手が広範囲に拡大している。(不動産)

☆★11年ぶりに2月から運賃値上が認可となる。また、雪が少ないため利用客は少ない。(タクシー)

☆ホワイト物流で、荷主の運賃を含め適正化への動きが活発化してきている。(貨物輸送)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	28.6	0.0	71.4
	今回	増加 50.0	不変 12.5	減少 37.5
輸送業	前回	22.2	11.1	66.7
	今回	33.3	33.4	33.3
うちタクシー業		66.7	0.0	33.3
うち運送業		16.7	50.0	33.3
外食業	前回	25.0	12.5	62.5
	今回	12.5	37.5	50.0

北信地区の景気判断 ▲45 [良い]7% [悪い]52%

自社の業況が上向く転換点 「改善の時期はわからない」48%

アンケート
2020年の経営見通し ②
2019年12月調査

北信地区の景気判断 [良い] 7%、[悪い]52%の景気判断D・Iは▲45で、昨年より16ポイント悪化しています。

自社の業況が上向く転換点 「すでに上向いている」は7%で、昨年より2ポイント悪化。「業況改善の時期はわからない」は48%となり、昨年より10ポイント改善しています。

た北信地区景気判断D・Iは▲45となり、昨年(▲29)より16ポイント悪化しています。

従業員規模で見ると、30人未満の▲38([良い]7%・[悪い]45%)に対して、30人以上は▲65([良い]8%・[悪い]73%)となりました。

北信地区の景気判断

昨年より16ポイント悪化 ▲29 → ▲45

「北信地区の景気は、良いと感じているか」を聞きました。

全産業では、「良い」(0.5%)と「やや良い」(6.6%)を合わせた[良い]は7%、「やや悪い」(33%)と「悪い」(19%)を合わせた[悪い]は52%、「どちらともいえない」は38%でした。[良い]から[悪い]を引い

業種別

全産業より高いのは建設業のみ

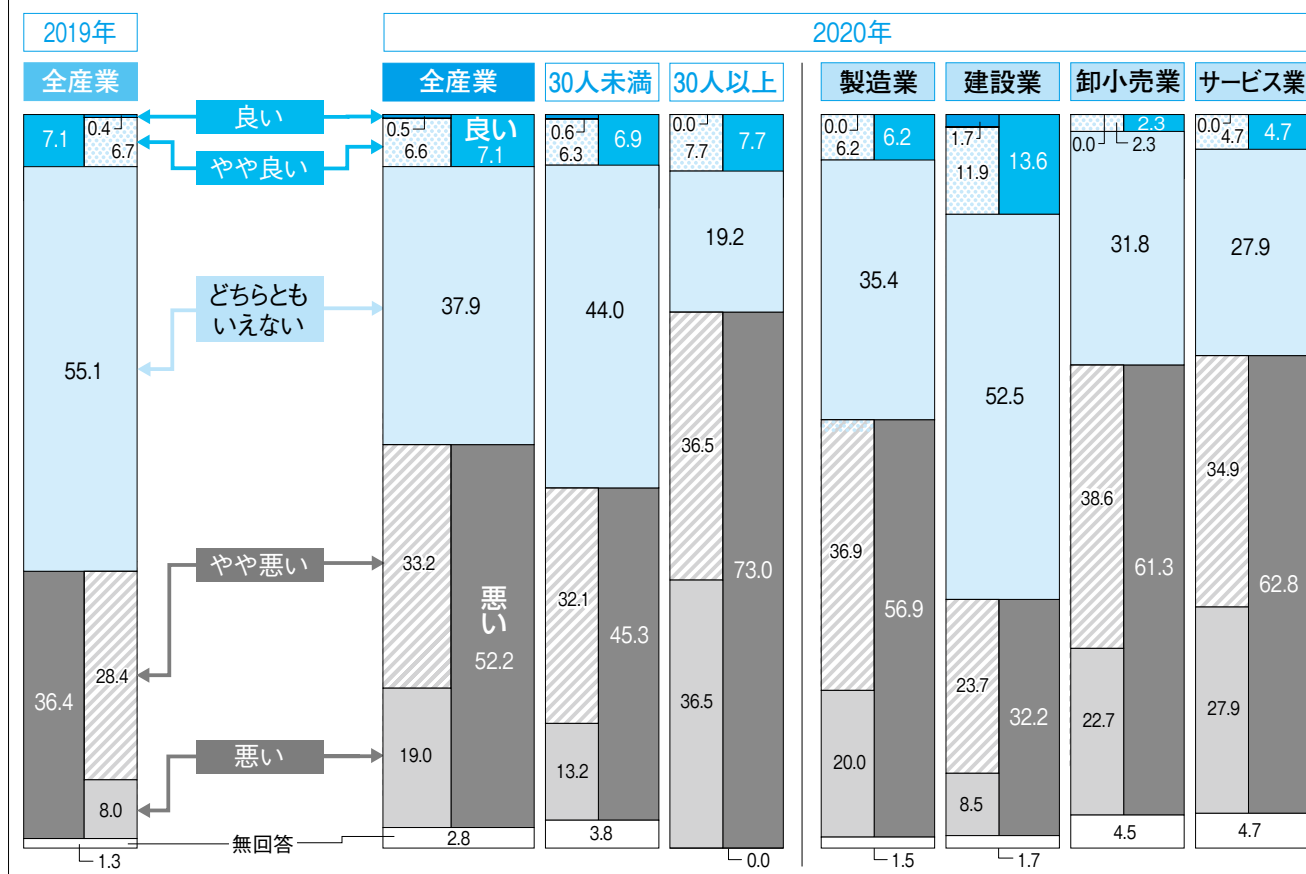
◇4業種(全産業比)

製造業 [良い]6%、[悪い]57%の景気判断D・Iは▲51で、30人未満が▲40、30人以上が▲73です。

建設業 [良い]14%、[悪い]32%の景気判断D・Iは▲19で、30人未満が▲23、30人以上が▲14です。

卸小売業 [良い]2%、[悪い]61%の景気判断D・Iは▲59で、30人未満が▲54、30人以上が▲86

●「北信地区の景気」は、良いと感じているか(%)



です。

サービス業 [良い] 5 %、[悪い] 63 %の景気判断D・Iは▲58で、30人未満が▲44、30人以上が▲81です。

業況が上向く転換点

「改善の時期はわからない」48 %に

「自社の業況が上向く転換点は、いつ頃になると見通しているか」を聞きました。

全産業では、「すでに上向いている」が7 %、「6カ月以内」が21 %、「1年後」が10 %、「2年後～3年超」が9 %となりました。「業況改善の時期はわからない」は48 %で、昨年より10 ㊦改善しています。

従業員規模で見ると、「すでに上向いている」は30人未満6 %に対して30人以上10 %の4 ㊦差、「1年後」は30人未満8 %に対して30人以上17 %の9 ㊦差となりました。「わからない」は30人未満50 %に対して30人以上42 %の8 ㊦差となりました。ほかは1～2 ㊦差です。

業種別

「すでに上向いている」

建設10 %～製造5 %

◇4業種(全産業比・前年比)

製造業 「6カ月以内」(28 %)と「1年後」(20 %)は、他業種に比べ最も高くなりました。他方「すでに上向いている」(5 %)、[2年後～3年超](6 %)、[わからない](40 %)は、他業種に比べ最も低くなっています。

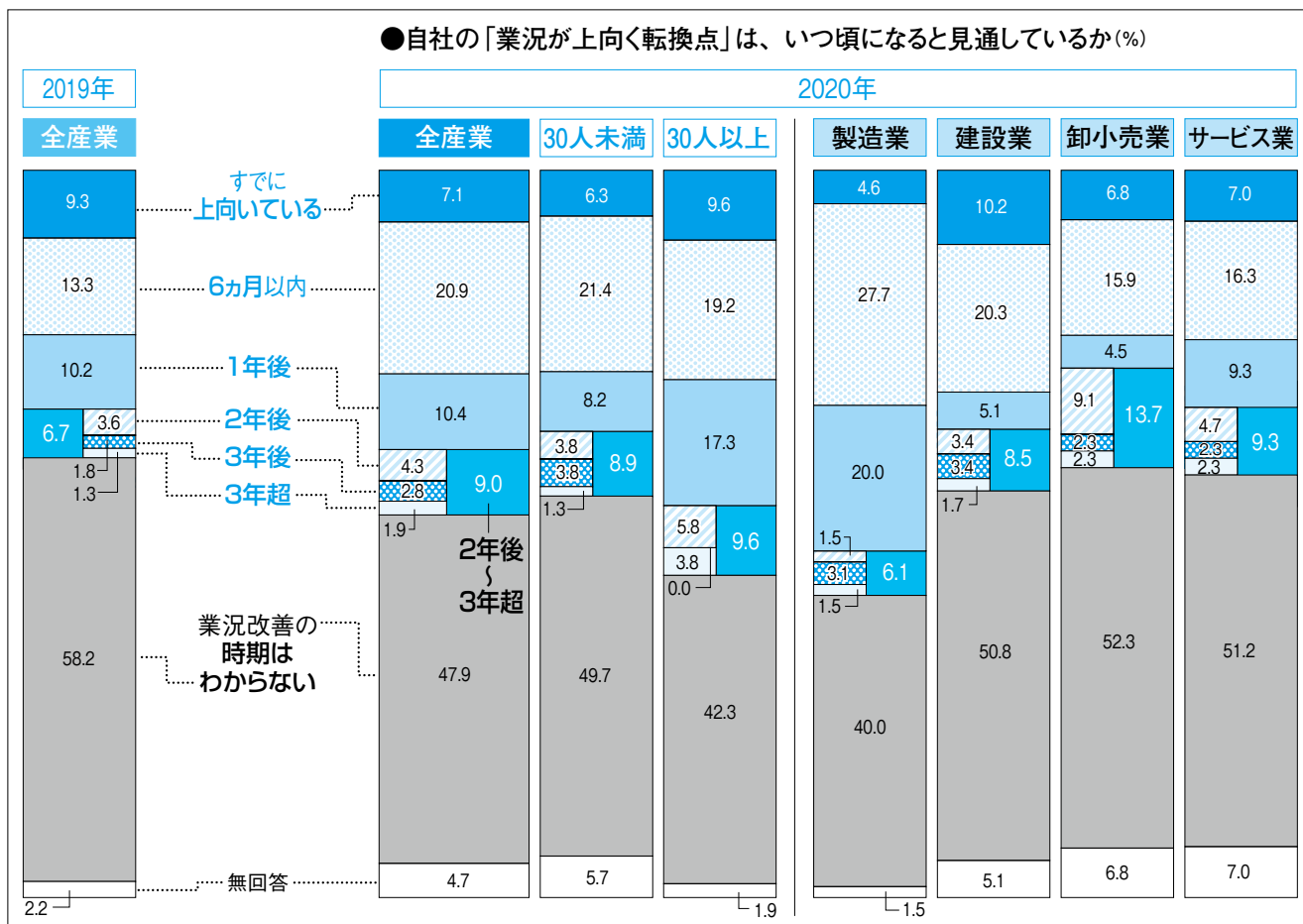
建設業 「すでに上向いている」(10 %)は、他業種に比べ最も高くなりました。他方「1年後」(5 %)は、卸小売に次いで低くなっています。

卸小売業 「2年後～3年超」(14 %)と「わからない」(52 %)は、他業種に比べ最も高くなりました。他方「6カ月以内」(16 %)と「1年後」(5 %)は、他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業 「6カ月以内」(16 %)は卸小売業に次いで低くなりました。

◇次号は「業界の市場の将来性」と

「重点的に取り組みたい経営課題」を予定





“人が、創る。人を、創る”が、 当社の使命です

ミヤマ精工株式会社
代表取締役社長 南澤文明さま

●創業の経緯について伺います…

当社の創業者である私の父は山田製作所（現㈱アピックヤマダ）さんに創立当初から勤務していましたが、1974年、45歳の時に独立して「ミヤマ精工」を立ち上げました。社名は、苗字の南澤から“ミ”、長年お世話になった山田製作所さんから“ヤマ”を頂き“ミヤマ”にしたそうです。

起業当初は従業員6名ほどで、山田製作所さんの仕事を中心にプレス金型を製作していました。金型は高額な商品となる仕事ですが、月をまたぐと資金繰りが大変になります。この状況を補完すべく金型のみを作るのではなく、金型の部品に特化して精度を上げ業績を伸ばしてきました。

半導体ブームの際は、アピックヤマダさんも独自で装置を作りはじめ、装置部品の依頼が増えてきたため、当社も装置部品づくりに移行しました。

●社長になられた経緯は…

私は学校を卒業後に山田製作所さんで5年間修行させて頂き、25歳でミヤマ精工に入社しました。その3年後に社長の父が亡くなり、母の社長継承後36歳で社長に就任しました。当時、会社は旧戸倉町にあったのですが、業績も伸び工場を拡張するために、現在の千曲市雨宮に移転しました。

移転先周辺は、長野冬季オリンピック開催を契機に新幹線や高速道のインフラが整備され、更埴インターチェンジにも近く、顧客の幅を広げる結果となりました。

●社長になられて、苦労されたことは…

若くして社長になり周りから「頑張ったな、苦労したな」と言われますが、自分では苦労を感じたことはなく、ただひたすら仕事を取ることに励み、気

が付いたら会社が立派になっていたということです。また、先輩方にも恵まれたと感謝しています。

リーマンショックの際に半導体だけでは厳しくなり、展示会にも出展するようになりました。その際、食品加工機や自動梱包機、工作機械の仕事を受注。また、北陸新幹線の金沢延伸を契機に、北陸地方には地力を持つ企業が多いので、先手を打つべく北陸方面へも営業活動を実施しました。

そんな努力が徐々に芽が出て、業務の幅が広がり、今は愛知県の自動車関連の仕事も受注しています。

愛知県の顧客には、「トヨタ看板方式」というシステムが根付いていて、“24時間対応”「その日のことはその日のうちに」との要望も強く、トラブルの際は製品を長野に持ち帰り、修正してすぐ届けることもありました。もっと効率的でスピーディーな対応をするため愛知県内で工場を探していましたが、ちょうど家族経営で後継者のいない会社を買収することができ、東海地方での拠点となっています。

また、シンガポールに研修に行き、職業訓練学校を見学した際、現地の学生たちが世界有数の高級工作機械を使い、精度の高い金型をつくっていたのを垣間見てとても驚きました。「これでは、日本は5年後に仕事がなくなる」と痛感しました。会社に戻り朝礼で全社員に「アジアでは高い技術で精度の高いもの作っている。コスト的に我が社も加工スピードを半分にしないと潰れてしまうぞ」と話しましたが、社員は「社長は何を言い出すんだ？」そんな顔をしていました。

数年後、それは現実となりました。アジアへの工場進出が盛んになり、「これは本当だな」と全社員が実感したのか、業務効率が上がって利益率も改善されました。

●従業員教育や資格取得に関して伺います…

“人が、創る。人を、創る”というのが、我が社のキャッチフレーズです。

今の若い人たちは精神面で弱い部分があり、コミュニケーション能力があるようでない。そういうところを重視して、“物は創っているが、その前に人を創らないと良い仕事はできない”という考えのもと、コミュニケーションを大切にする活動を実施しています。

独自に行っているのが、1年間のテーマ(不良削減・技術向上)などを設け、各チームが個別テーマについて勉強をし、発表会を実施しています。また、“5S活動”(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)も行っています。これは経費削減にもつながっています。無駄な物がなくなりスペースができ、機械が置けます。結果、面積当たりの利益が上がるという発想です。これも年に1回発表会があります。

発表会のあとは、コミュニケーションを深めるために、会社負担でボウリング大会、そして懇親会を開催しています。その際は“仕事の話はあまりしないで楽しもう”を基本としています。

ボウリング大会や懇親会では、チームだけで交



本社製品の一部



本社社屋外観

わるのではなく、チームを超えた会社全体の中での交流を図ることを大切にしています。

また、全額会社負担で年に1回社員旅行、忘年会も泊まりで実施しています。みんなが参加しやすい環境をつくるべく、また、普段関わっていない人と交わえるよう宴会の席は「くじ引き」で決め、管理職や役員もみんな混ざり合って座るようにしています。

●今後の方針や夢などについて…

入社後、結婚して家庭を持ち、マイホームを建てるという社員が多い中、「継続的な雇用で働ける環境をつくり、立ち止まってはいけない」という考えをベースに経営をしています。

業務が半導体から自動車部品づくりになってきたように、今後はさらに違った業界の製品作りもしたいとの思いから、去年から航空機部品の分野にもチャレンジしています。これが順調に推移しており、受注が向上してきました。

半導体・自動車・工作機械・航空機、あと1つプラスしたいのが医療関係です。しかし医療はハードルが高く、現在、一生懸命模索しているところです。

様々な業界に関わっていると、景気にも左右されにくく業績も安定しますので、企業規模よりも中身で良い会社になることを目指していきたいと考えています。

●事業の概要

設 立 1974(昭和49)年
資本金 1,200万円
代表者 南澤文明
従業員 60名(男46・女14)
業 務 精密機器の加工
U R L <https://www.miyamask.co.jp/>

●沿革

1974(昭49)年 ミヤマ精工(株)設立
1975(昭50)年 長野県埴科郡戸倉町にて創業
1996(平8)年 千曲市雨宮に本社移転
戸倉町旧社屋は戸倉工場
2007(平19)年 エコアクション21取得
2012(平24)年 工場増築(機械装置組立開始)
2017(平29)年 (株)ハマ鉄工所(現(株)シー・エイチ・エス)買収

北信濃 江戸時代の風景

(66) 天然ダムの決壊

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



本年度は、弘化4年（1847）に起こった善光寺地震を記録した『地震後世俗語之種』（国立国会図書館本）の挿絵を用いています。

善光寺地震が起こったのは、3月24日（太陽暦では5月8日）の午後10時ころでした。この大地震により虚空蔵山（岩倉山）（長野市信更町）が崩壊し、犀川をせき止めました。ちょうど雪解けの時期で、犀川の流量は多かったはずですが、出現した天然ダムは日々水量を増し、末端は安曇野市明科付近にまで達しました。

これにより犀川沿いの村々が水没したことは、本誌令和元年11月号に「せき止められた犀川」として書きました。また天然ダムの決壊を恐れて人々が高地に避難したことは、令和元年12月号に「高地への避難」として書きました。合わせてご覧ください。

天然ダムが決壊したのは4月13日午後のことでした。その激流が川中島平に押し出す様を描いた

のが、左下の絵です。

絵を読む

右上に「犀川之水一時ニ押破り、土砂・磐石・樹木、民家ト共ニ押出シ、水煙リ之有様、川中嶋・小松原・岡田山辺ニ見ル」と書いてあります。犀川の水が一気に決壊し、土砂・岩石・樹木が民家と一緒に流れ出し、水煙を上げている様子を、川中島・小松原・岡田の山辺から見た図だということです。

この絵では、左の山間から大量の水が滝のように流れ落ち、平野部に渦を巻いて流れ込んでいます。右下の「丹波嶋駅」（丹波島宿）をはじめとする多くの村々が、激流に飲み込まれようとしています。

丹波島宿（長野市丹波島）の北側には、本来は犀川が流れているはずですが、それらしいものではなく、対岸の1対の常夜灯が渡し場であることを示しています。その北には荒木・中御所などの集落

犀川の天然ダムが決壊し、大洪水が村々を襲う図（国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より）



があり、山際には善光寺が描かれています。

この国立国会図書館本では不明確ですが、永井善左衛門幸一が描いた原本では、善光寺の門前町が焼け野原になっている様子が描かれています。また安茂里地区の山々が崩落している様子も、この本には描かれていません。

善光寺の左下には裾花川が、逆のくの字で描かれています。途中に橋のようなものが描かれているのは、現在の相生橋付近にあった小柴見の渡し場です。この渡し場は、橋が架けられたこともあったといえます。

ダム決壊のデマ

犀川をせき止めた天然ダムは、決壊による大洪水を予感させ、人々を不安に陥れました。標高が高いので洪水が押し寄せなかった権堂付近でさえ、地震の翌々日の3月26日朝には水が押し寄せるとのデマが広まり、人々が高地に避難するという騒ぎがあったことを、善左衛門は記録しています。

松代藩の家老河原綱徳の手記『むしくら日記』には、次のような記事があります。松代藩は天然ダムの決壊を恐れ、犀川の平野部への出口(現在の小市橋上流)に領民を動員して、堤防工事を始めました。3月27日、側用人の岩崎勝介は慰労の酒5樽を馬に積んで現場に向かいました。小松原付近まで来ると、数百人の人足が、「今水が押し出しました。逃げてください」と言いながら逃げてきます。それにつられて馬を引いていた馬子も、酒樽を投げ出して馬に乗って逃げ去ってしまいました。地震の直後から、人々がいかに天然ダムの決壊を恐れていたかが分かります。



裾花川の相生橋。この付近に小柴見の渡しがあった

天然ダムの決壊

4月13日(太陽暦では5月27日)の午後4時頃、犀川の天然ダムは決壊し、大量の水が善光寺平に押し出しました。それは単なる洪水とは違って、津波に似ていたと言ったべきでしょう。決壊は予想されていたから、かなりの人が山手に避難しており、大洪水であった割には犠牲者が少なく済みました。

この大洪水を妻女山(長野市松代町)から眺めていたのが、上塩尻村(上田市上塩尻)の原昌言^{はらまさこ}でした。昌言はこの大災害を地図に表した「弘化丁未信濃国大地震之図」を出版しました。これは2枚の図から成っていて、その1枚は4月13日の大洪水を地図に表したものです。

それによれば、大洪水は千曲川を越えて松代城下にまで達しています。北は栗田・南俣あたりまでで、善光寺周辺へは洪水が及びませんでした。しかし大豆島・長沼などは深く浸水しました。千曲川右岸では川田・綿内(長野市)・福島(須坂市)・江部(中野市)などが被害を受けています。飯山の周辺も千曲川の両岸が大洪水となりました。

3月号は「洪水後の山村山」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

令和元年台風19号被災事業者さま向け

「グループ補助金」交付申請

個別相談会

実施期間…令和2年1月8日(水)～3月30日(月)

無料

事前予約制
各回50分

*対象事業者さま…台風19号によって被災された事業者さま

*ご相談項目……………グループ補助金の交付申請に関すること、台風19号に関する経営相談

公益財団法人長野県中小企業振興センター

「長野県よろず支援拠点コーディネーター」による申請等サポート

*会場……………以下3会場にて曜日別(祝祭日は除く)で開催

*時間帯……………午前9:30～12:00 午後13:30～16:20(午前・午後3回ずつ、各50分)

毎週 **月** 曜日

豊野支店

026-257-3121
長野市豊野町豊野沖608-1

毎週 **水** 曜日

本店営業部

026-225-0225
長野市居町133-1

毎週 **金** 曜日

屋代支店

026-272-3311
千曲市栗佐1599-6

ご予約お申込方法

お取引されている店舗または最寄りの店舗まで
お申込みください。

お問合せ先：026-228-0221 長野信用金庫 地域みらい応援部 下平・金子

●みなさまの税務相談のご案内 [3月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午 前	午 後	開催日		午 前	午 後
3月 3日	火	大豆島支店 (長池支店)		3月 17日	火	小布施支店 (中野支店)	若穂支店
4日	水	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	18日	水	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
6日	金	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	19日	木	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
9日	月	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	24日	火	本店営業部	
11日	水	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	26日	木	本 部	
13日	金	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	27日	金	本 部	

●3月の「しんきん事業相談会」は3月4日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

